

5. 食べることについて

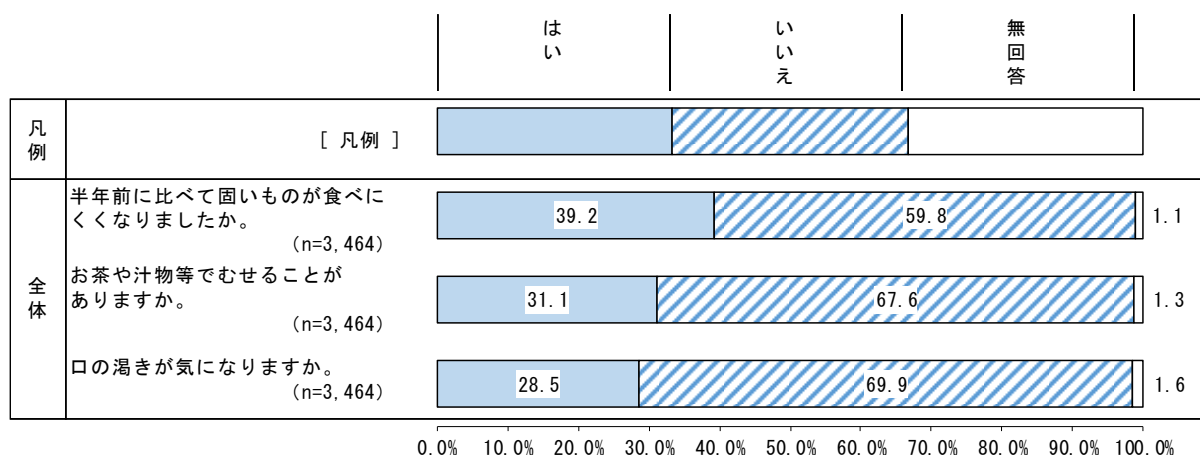
(1) 口腔

① 口内の健康状態

- 問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)
- 問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)
- 問3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

【全体】
○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 39.2%、「いいえ」が 59.8%となっています。
○ お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 31.1%、「いいえ」が 67.6%となっています。
○ 口の渇きが気になるかについて、「はい」が 28.5%、「いいえ」が 69.9%となっています。

【口内の健康状況（まとめ）】



◆口腔機能の低下リスクの判定

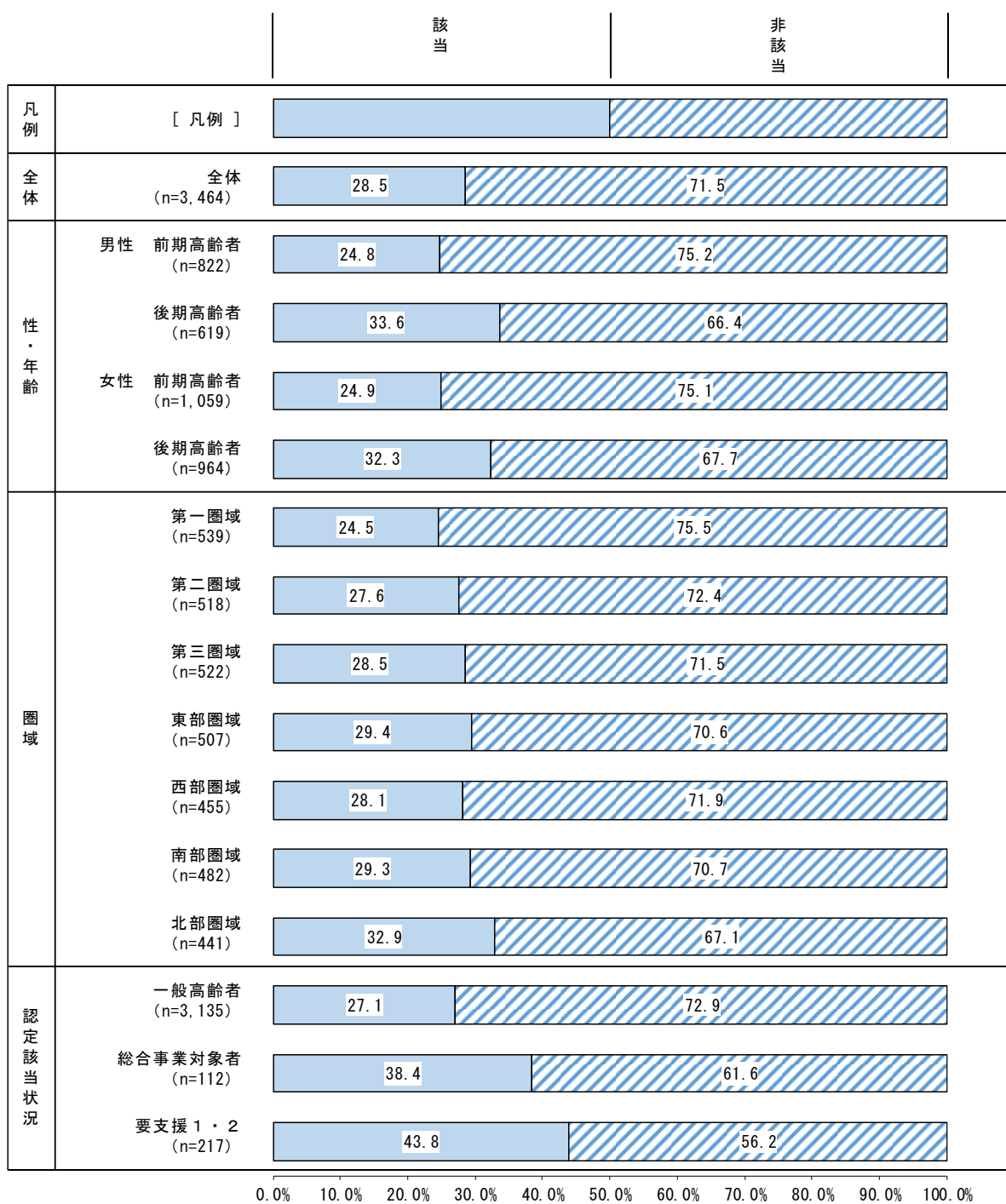
●判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

【全体】
○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が 28.5%、「非該当」が 71.5%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
【圏域】
○ 「該当」は北部圏域が 32.9%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は一般高齢者が 27.1%、総合事業対象者が 38.4%、要支援1・2が 43.8%となっています。

【口腔機能の低下リスク】



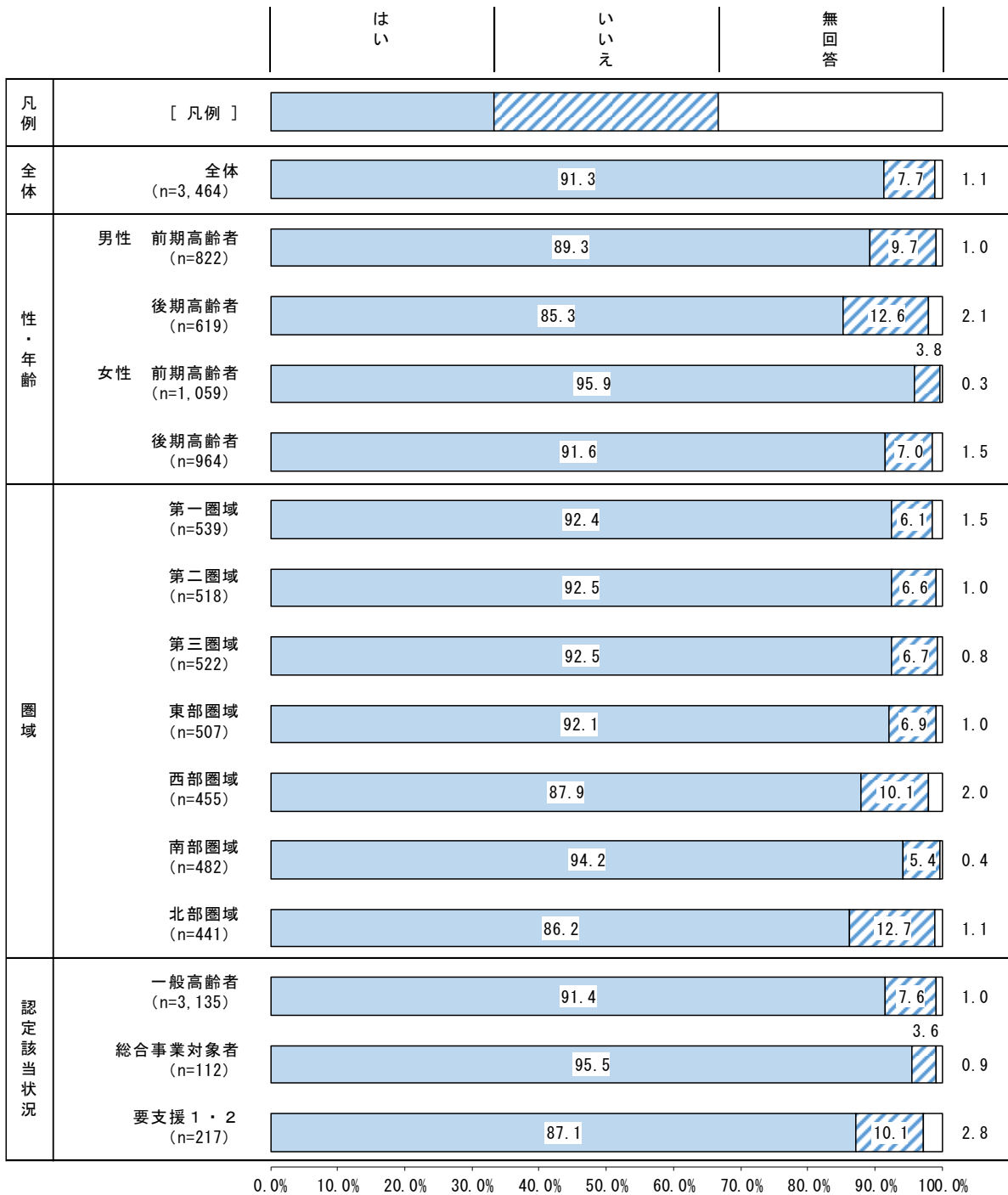
② 歯の状況

●問3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

【全体】

○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が91.3%、「いいえ」が7.7%となっています。

【歯磨きを毎日しているか】



●問3.6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ)

【全体】

- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 40.4%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 26.1%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 11.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が多くなっています。

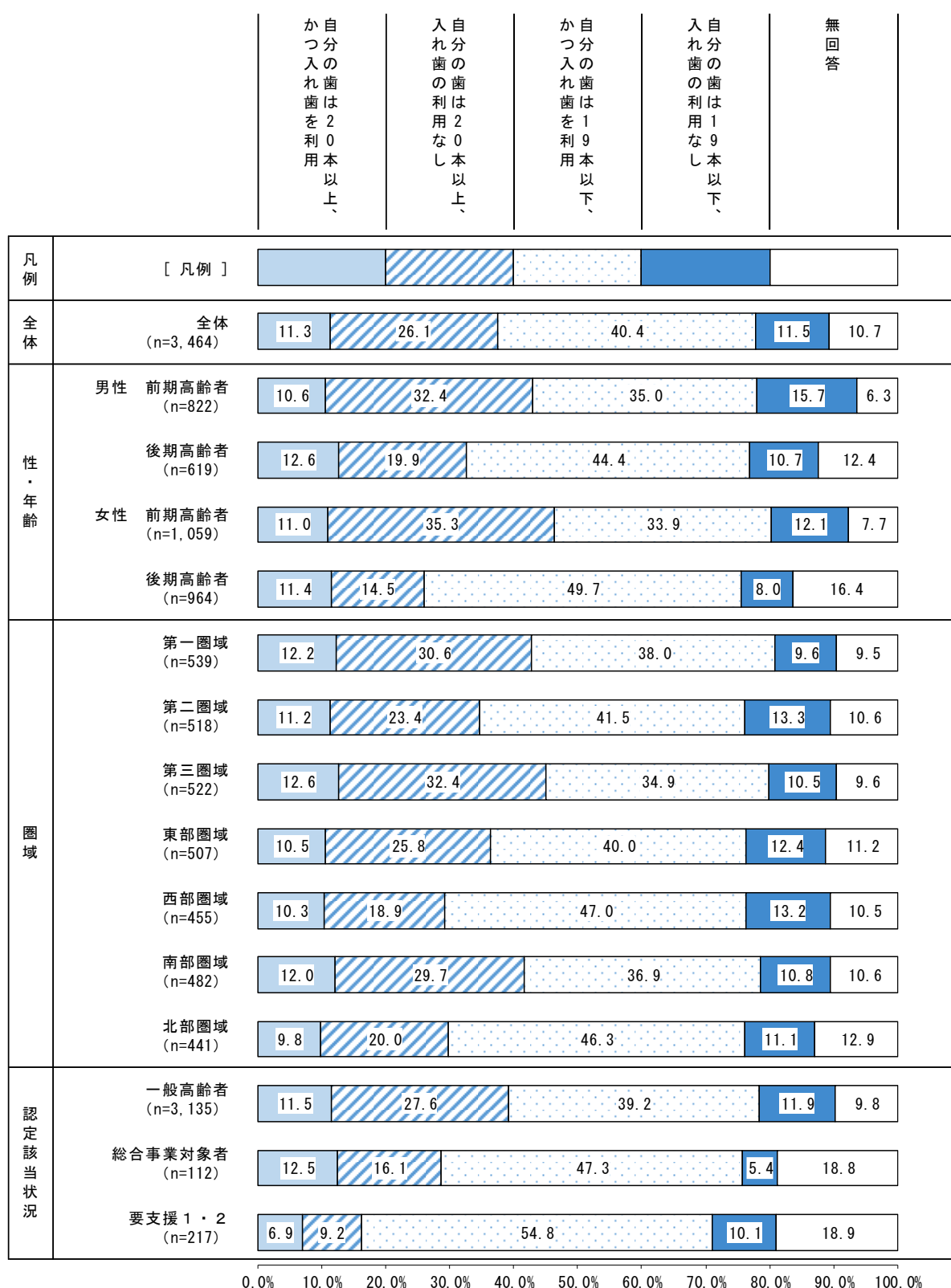
【圏域】

- 「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」は西部圏域が 47.0%、北部圏域が 46.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」は一般高齢者が 39.2%、総合事業対象者が 47.3%、要支援 1・2 が 54.8%となっています。

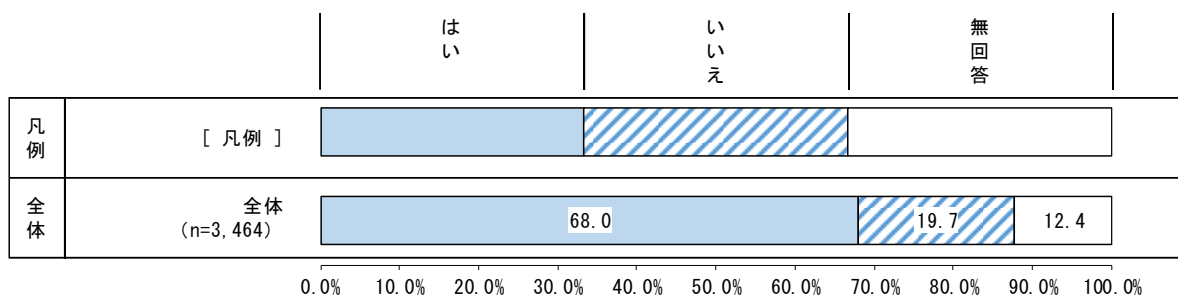
【歯の数と入れ歯の利用状況】



●問3.6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)

【全体】
○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が68.0%、「いいえ」が19.7%となっています。

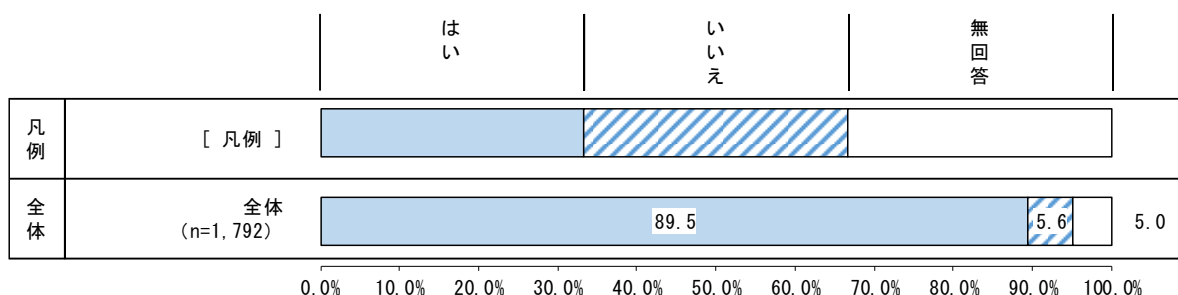
【噛み合わせは良いか】



●問3.6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)

【全体】
○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が89.5%、「いいえ」が5.6%となっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



(2) 栄養

① 体重の状況

◆栄養改善のリスクの判定

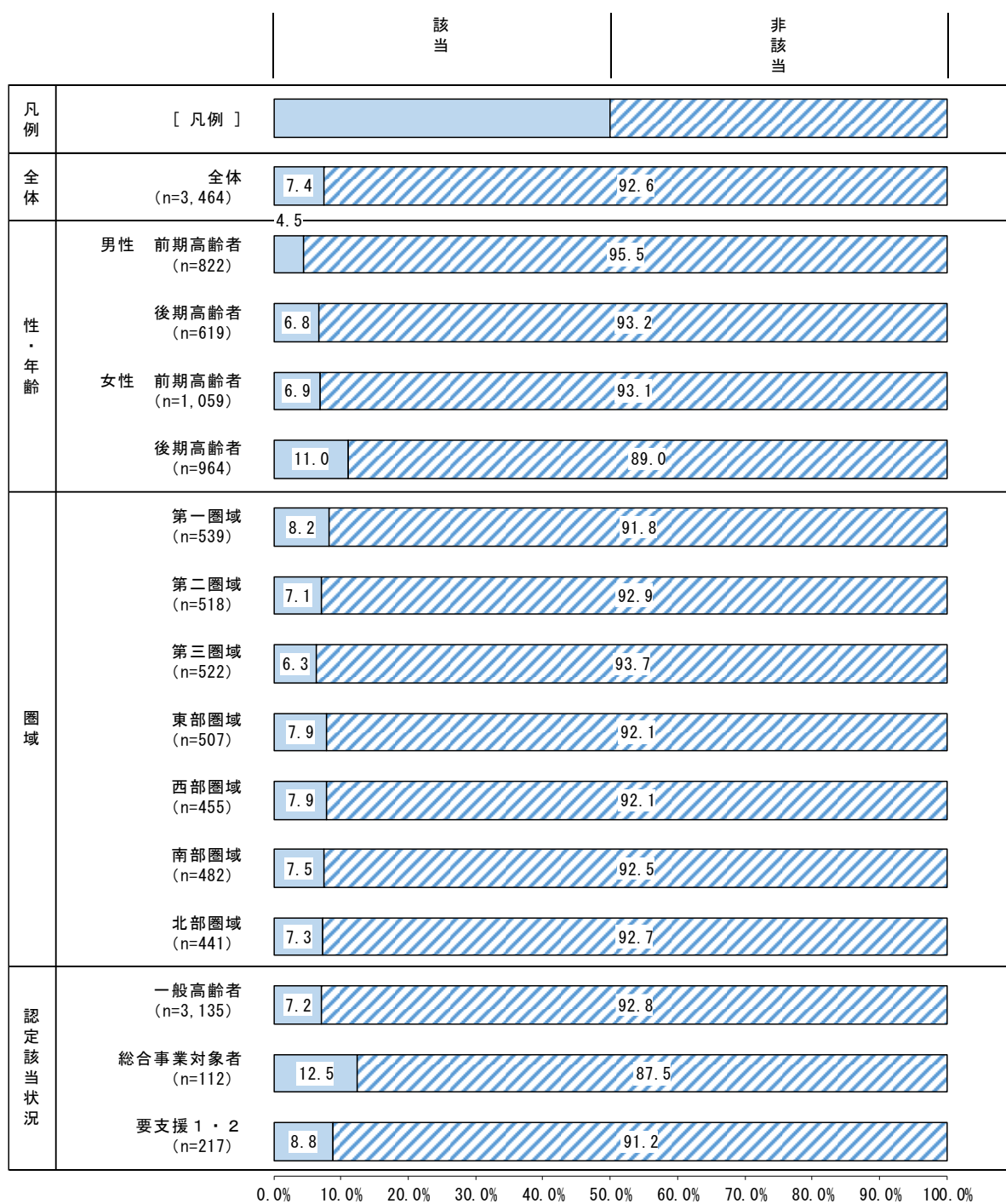
●判定方法

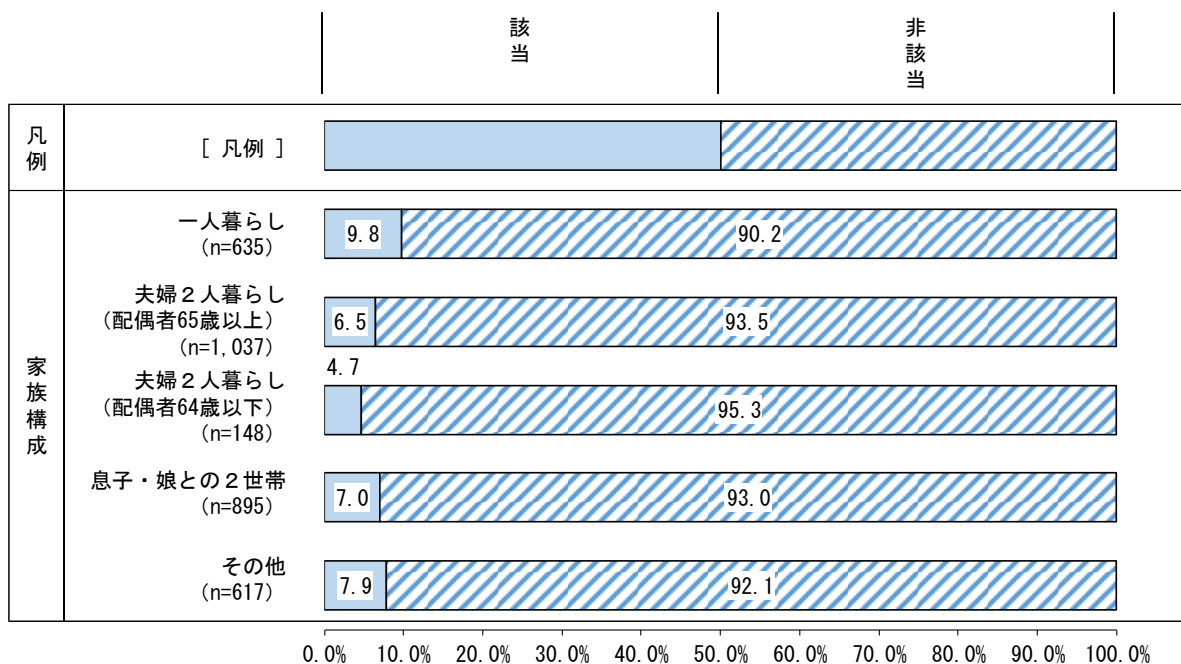
以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷身長 (m) ²)	18.5 以下

【全体】
○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が7.4%、「非該当」が92.6%となっています。
【性・年齢】
○ 「該当」は女性の後期高齢者が11.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は総合事業対象者が12.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【栄養改善のリスク】



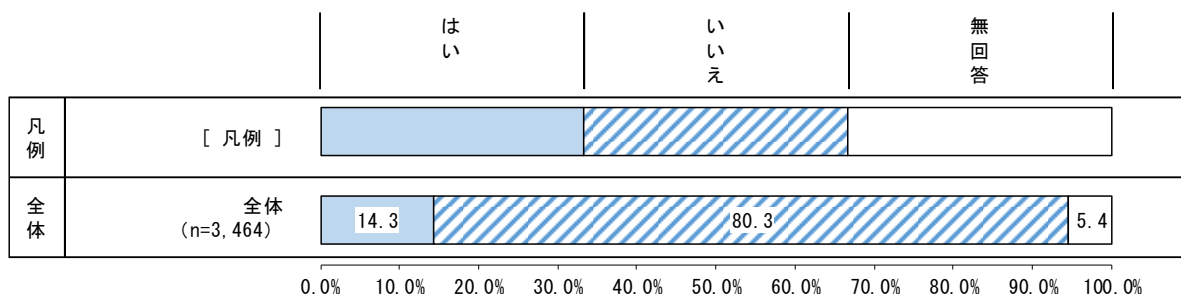


●問3.7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)

【全体】

○ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が14.3%、「いいえ」が80.3%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



◆低栄養のリスクの判定

●判定方法

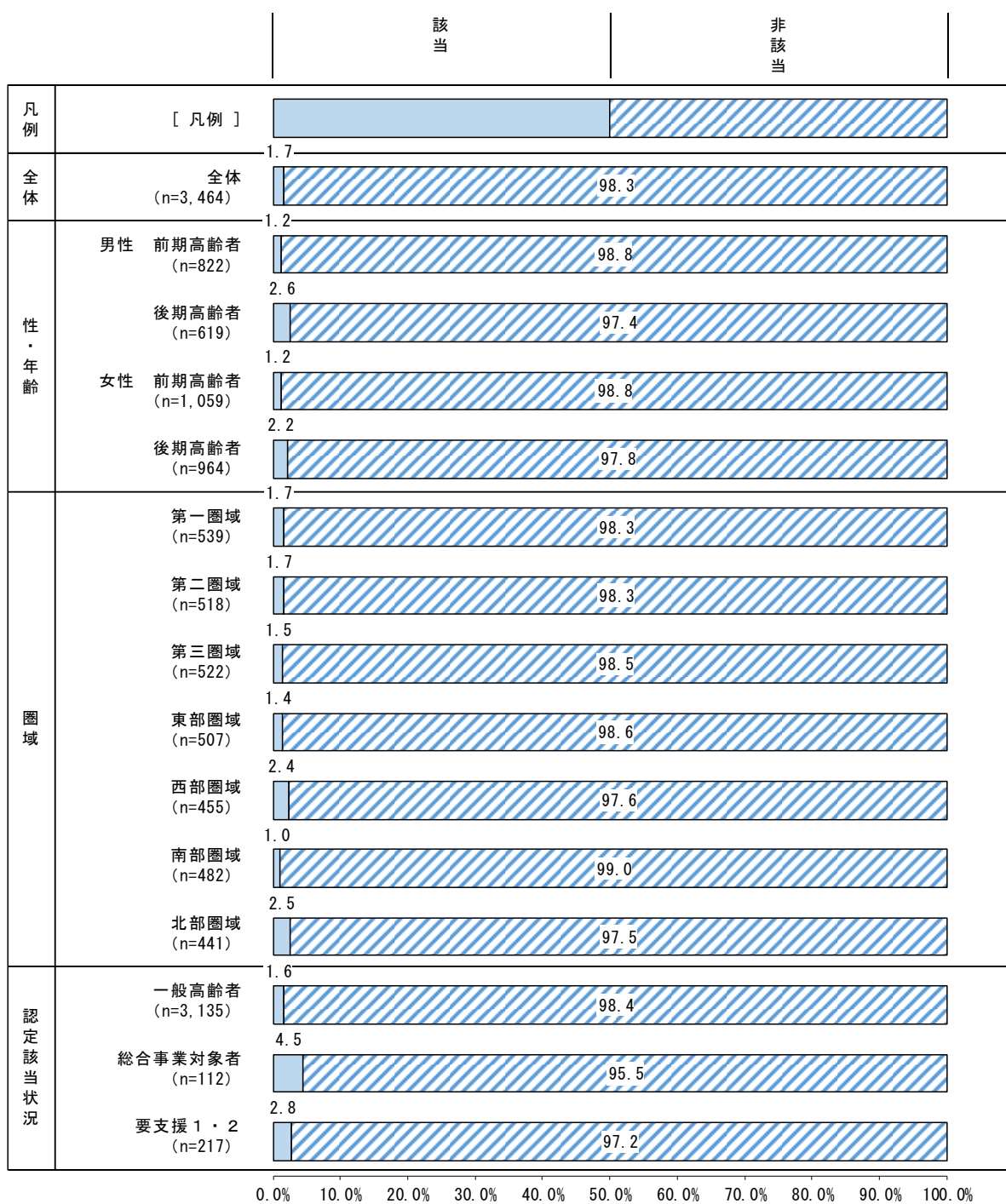
以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

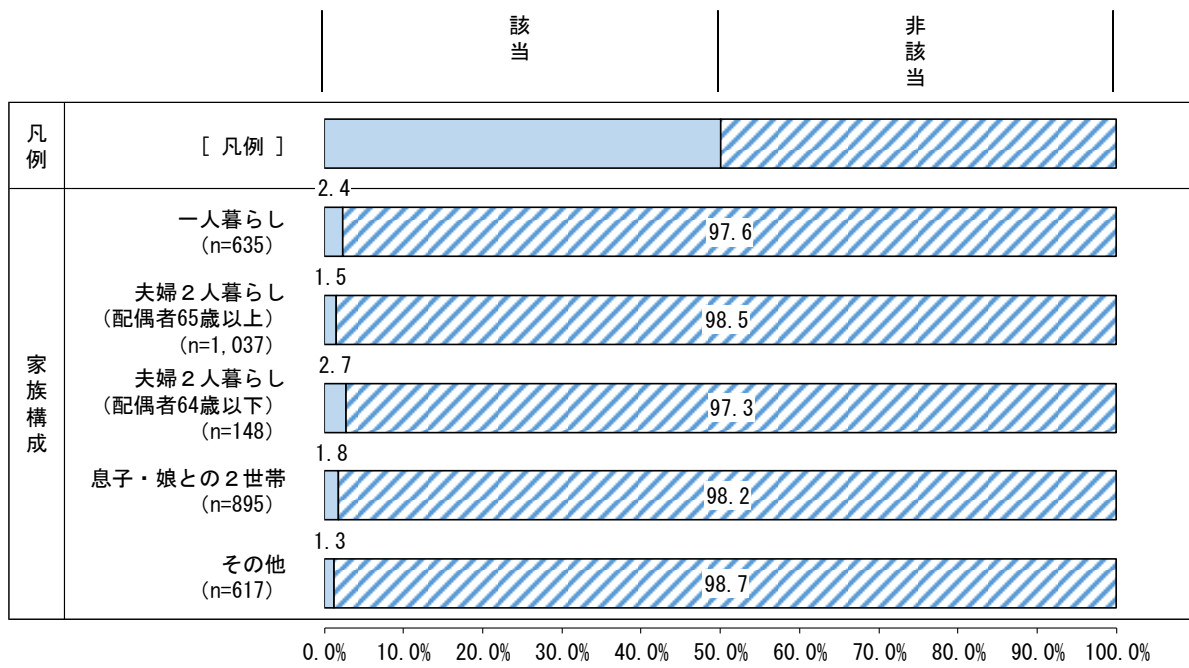
設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ 身長 (m) ²)	18.5 以下
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.7%、「非該当」が98.3%となっています。

【低栄養のリスク】



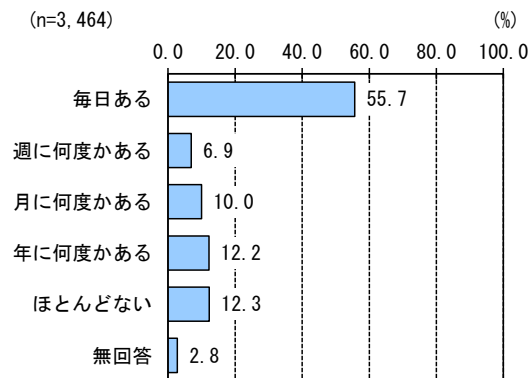


② 孤食の状況

●問3.8 どなたかと食事をともにする機会はありますか。(1つだけ)

【全体】
○ 共食の有無について、「毎日ある」が 55.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が 12.3%、「年に何度かある」が 12.2%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は 24.5%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“孤食傾向の方”が多くなっています。
【認定該当状況】
○ “孤食傾向の方”は一般高齢者が 23.7%、総合事業対象者が 25.9%、要支援1・2が 35.0%となっています。
【家族構成】
○ “孤食傾向の方”は一人暮らしが 53.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【共食の有無】



	母数 (n)	共食の有無						“孤食傾向の方”	
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答		
全体	3,464	55.7	6.9	10.0	12.2	12.3	2.8	24.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	822	60.0	5.5	7.9	10.8	12.8	3.0	23.6
	後期高齢者	619	54.3	4.7	8.1	12.9	17.0	3.1	29.9
	女性 前期高齢者	1,059	63.0	6.7	10.2	10.4	7.3	2.5	17.7
	後期高齢者	964	▼ 45.0	9.9	12.9	14.9	14.5	2.8	29.4
圏域	第一圏域	539	55.1	6.7	9.6	13.9	12.8	1.9	26.7
	第二圏域	518	55.4	7.1	9.7	12.4	13.3	2.1	25.7
	第三圏域	522	52.5	8.4	10.9	12.1	14.6	1.5	26.7
	東部圏域	507	53.8	8.9	10.7	10.8	12.2	3.6	23.0
	西部圏域	455	59.1	6.8	9.9	10.1	9.9	4.2	20.0
	南部圏域	482	58.3	4.1	12.4	12.0	8.9	4.1	20.9
	北部圏域	441	56.5	6.1	6.6	14.1	14.3	2.5	28.4
認定該当状況	一般高齢者	3,135	57.2	6.3	9.9	12.1	11.6	2.8	23.7
	総合事業対象者	112	▼ 44.6	12.5	13.4	16.1	9.8	3.6	25.9
	要支援1・2	217	▼ 39.6	13.4	9.7	11.5	△ 23.5	2.3	△ 35.0
家族構成	一人暮らし	635	▼ 3.1	14.2	△ 26.3	△ 24.4	△ 29.1	2.8	△ 53.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,037	△ 66.0	3.4	7.6	11.5	9.3	2.3	20.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	148	△ 68.2	4.7	6.8	11.5	6.1	2.7	17.6
	息子・娘との2世帯	895	△ 67.5	7.7	6.0	8.0	7.7	3.0	15.7
	その他	617	△ 72.9	5.2	4.4	7.0	8.3	2.3	15.3